

景観



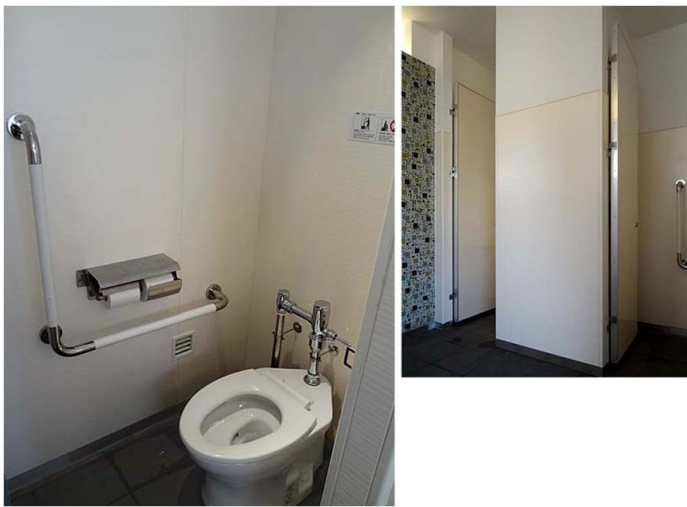
嵐山竹手水堂（嵐山観光駐車場トイレ）は、京福線嵐山駅そば、渡月橋の東畔に位置。収容台数は、バス37台・普通車105台。桜や紅葉のシーズン中は1日180台ほどのバス利用がある。

トイレ外観



切妻屋根に、縦格子を前面にあしらった外観は、周辺の景観となじみ、京都の趣にふさわしいデザインとなっている。

男性トイレ 大便器ブース



男女トイレ共に、高齢者の立ち座りに配慮して、入口に近いブースに、L型手すりを設置している。

多機能トイレ



多機能トイレは、車いす使用者やオストメイト、小さなお子様連れなど、さまざまな利用者を想定して、オストメイト対応トイレバックやベビーチェア、おむつ交換ができるベビーシートを完備している。

女性トイレ 全体



洗面利用者とトイレ利用者の視線を遮る配慮として、嵯峨野の竹林をイメージした竹を効果的に用いたスクリーンをコーナー間に設けている。出入口口近くには、身繕いができるように全身鏡を設置。

女性トイレ 洗面コーナー



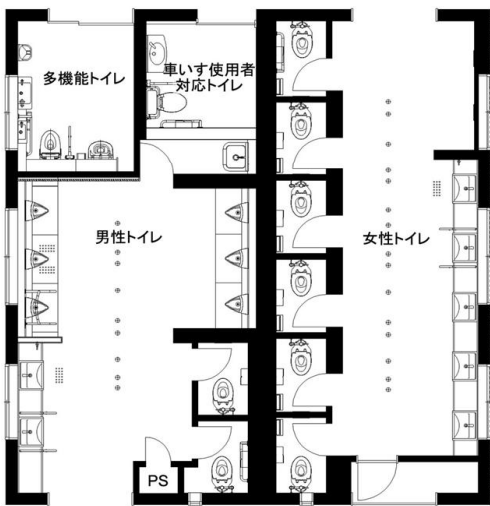
洗面器は、手洗い位置がカウンター面より低く、周囲への水はねを低減できるL350を採用。洗面用水栓には、水じまいよく節水効果も図れる自動水栓を採用。

車いす使用者対応トイレ

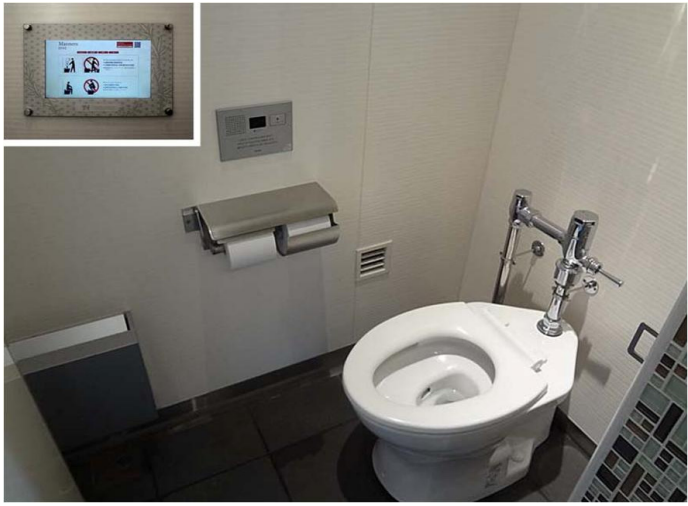


機能分散を図る目的から、多機能トイレと別に、車いすから移乗しやすいように、はね上げ手すりとL型手すり、背もたれを備えた車いす使用者対応トイレも別置している。

トイレ図面



女性トイレ 大便器ブース



女性トイレは、2度流しを防止する音姫（擬音装置）を設置。また、男女トイレ共、全ブースにモニターを設置し、4ヶ国語表記でトイレの使い方をガイド。あわせて設計施工会社やトイレの採用商材を紹介。

男性トイレ 小便器コーナー



子供から大人まで使いやすく、小便器足元の掃除がしやすい低リップタイプの壁掛小便器を設置。自己発電式で省エネタイプ。小便器の正面には、大便器ブース同様、紹介モニターを設置している。

建築概要

名 称	嵐山竹手水堂（あらしやまたけちょうずどう） （嵐山観光駐車場公衆便所）
所 在 地	京都府京都市右京区嵯峨天竜寺造路町 31番地の1
施 主	京都市
設 計	イワモトエンジニアリング株式会社
施 工	イワモトエンジニアリング株式会社
竣工年月	（改修）2016年10月

水まわりの特長

<改修の経緯>

京都の観光地・嵐山は、古くから歌枕として多くの歌に詠まれているように、春は桜、秋は紅葉の名所として有名。桂川に「月が橋を渡るように見えた」という逸話から名づけられた渡月橋がかかり、四季折々の景観は観光客を楽しませてくれる。国際文化観光都市である京都市は、トイレを観光の一翼を担うホスピタリティの場と位置付け、特に利用が多い観光地の公衆トイレを整備・充実するために一斉改修を実施している。このたびTOTOの特約店である設計施工会社のイワモトエンジニアリング（株）が、このネーミングライツ事業に応募、嵐山観光駐車場トイレを改修。渡月橋の北側、嵯峨野に広がる竹林をイメージして、「嵐山竹手水堂（あらしやまたけちょうずどう）」と命名した。

<トイレの特長>

同トイレは、渡月橋の東畔に位置。嵐山の観光拠点となる地であるため、駐車場利用者を含め、多くの観光客のための公衆トイレとして利用されている。外観は、周囲の景観に馴染み、インテリアにも京都らしい和の趣が感じられる。大便器は、すべて洋式便器、小便器は自己発電式小便器を採用。多機能トイレは、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなどのための設備を完備。また、多機能トイレとは別に機能分散に配慮して、車いす使用者対応トイレを設置するなど、嵐山を訪れるさまざまな人にとっての快適性を追求した。